

第 3 2 回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023 年 4 月 1 日～2023 年 9 月 30 日

団体名	里山の山野草を守る会
活動タイトル	自生する山野草の保全と管理
活動地域	奈良県桜井市三谷地区



R5. 4. 6 総会后 参加者全員で記念撮影

【活動の目的・目標】

何もしなければ失われていく山野草とその生育環境を持続させることが活動目的である。草刈りや獣害対策など手を加え、奈良県レッドデータブックに記載された注目種を保全し管理記録していくことを忠実に継続していきたい。



R5. 6. 5 初めての地域清掃を実施。年 2 回予定

【今回の活動で苦勞した/工夫したこと】

活動地域は準限界地域であり、里山沿いの道路の草刈りもされない所が多いため、地域への貢献の一環として、年 2 回地域清掃を行うことにした。上期は 6 月 5 日の全体会参加者全員で約 400m の道路沿いの草刈りを実施した。



R5. 7. 29 大和川源流体験ツアーに協賛

【活動の内容・成果】

開催回数：29 回

参加人数：延べ 398 人

達成率：前年比 110%（昨年 360 人）

4 月から 3 年ぶりにコロナ前の活動に戻し、全体会を毎月行うことにした。4 月全体会では総会を実施し、予算・役員人事等を決定。全体会…6 回開催、延べ 141 人参加。班活動…4 班がそれぞれのフィールドで月 1 回行う活動。23 回開催、延べ 246 人参加。上期は絶滅寸前種・危惧種・希少種等多くの山野草が開花するため、それらの観察記録や個体数調査を行い経年変化の記録を主作業としている。保全作業としては、管理する山野草の周囲の草刈りを中心とし、必要に応じて獣害対策設備や通路の整備を行っている。

メンバーの高齢化が進み、新規加入者を増やすことが課題であるが、実習見学に 11 人が参加し、今後の新規加入に期待している。

7 月の大和川源流体験ツアーに協賛参加し、子供たちに里山を楽しんでもらった。

【団体概要】

私たちの活動する山野草の里「三谷」は大和川源流地域にあり、絶滅危惧種や希少種が沢山自生し、山野草の生育環境の保全と維持管理を行っています。メンバーは大阪、奈良、兵庫、京都、三重の広範囲から参加の 56 人が活動。2015 年に環境省から「生物多様性保全上重要な里地里山 500 選」に選定されました。

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



令和5年4月6日

総会の風景

令和4年度報告、5年度予算・役員人事等を審議した。



令和5年6月19日

絶滅寸前種のツレサギソウや絶滅危惧種のコシオガマが自生する急斜面で刈った草を一旦沢に落とし、その草を集めて処分。



令和5年6月19日

特定外来生物オオハンゴンソウを掘り起こしている。

女性メンバーが大活躍。



令和5年9月1日

全体会の午後に幹事会を開催。

予算の進捗状況、下期の行事（地域清掃、勉強会、芋煮会）、来年度役員・活動等について審議。